



Title			Client	Used on
LL1524 Evaluation Board Circuit & Connection			Model	LL1524EVA
Size: A4	Number:	Revision: 20282P	Drawn by	G.W
Issue:	Revised	Sheet 1 of 1	Approved by	

■LL1524EVA 基板仕様

- 基板厚 $t=1.6$ 、外形サイズ 40mm x 70mm、片面基板、半田面レジスト仕上げ、部品面シルク印刷
- 基板取付穴は 30mm x 60mm間隔(外形から5mmずつ内側)に 4ヶ所、穴径は $\phi 3.5$ です。
- 配線材用の穴径は $\phi 1.5$ です。SH穴 とCase穴 は $\phi 1.0$ です。

■接続参考図について

- 参考としてキャノン・コネクタへの配線を 2番ホットで示してあります。
- 基板上のSH 穴と Case穴 をメッキ線などでショートすると、1次側 (Primary)のシールド・ラインを基板の固定用ホール+金属スペーサを使ってケース (シャーシ)に落とすことができます。
- 基板上の **GND Lift** 穴をグラウンド・リフト・スイッチに接続しておく、グラウンド・ループなどでノイズが生じるような場合に、2次側 (Secondary)のシールド・ラインを切り離すことができます。グラウンド・リフト・スイッチが不要の場合はメッキ線などでショートするか、そのままにしてください。

■半田付けについて

- 配線材はAWG22前後のビニル被覆燃線をお勧めします。シールド線は作業効率は落ちますが外来ノイズなどに対して有効です。
- トランスのピンを基板に半田付けする際は、十分な熱容量をもった半田ごてを使い、長時間半田ごてを当てないようにしてください。半田ごてを当てる時間は、1ピンあたり数秒以内にしてください。
- 半田付けの際は火傷にご注意ください。

■ご使用上の注意

- トランスの巻線には絶対にDC (直流電流)を流さないでください。コアが磁化されてしまい、周波数特性や歪率が大幅に悪化します。トランスの断線を調べるためにテスターを使ってはいけません。テスターの抵抗レンジは被測定物にDC を流して抵抗値を測定します。
- グラウンド・リフト・スイッチを切り替える際には大きなノイズが生じる場合があります。パワー・アンプなどのボリュームを絞ってから切り替えてください。